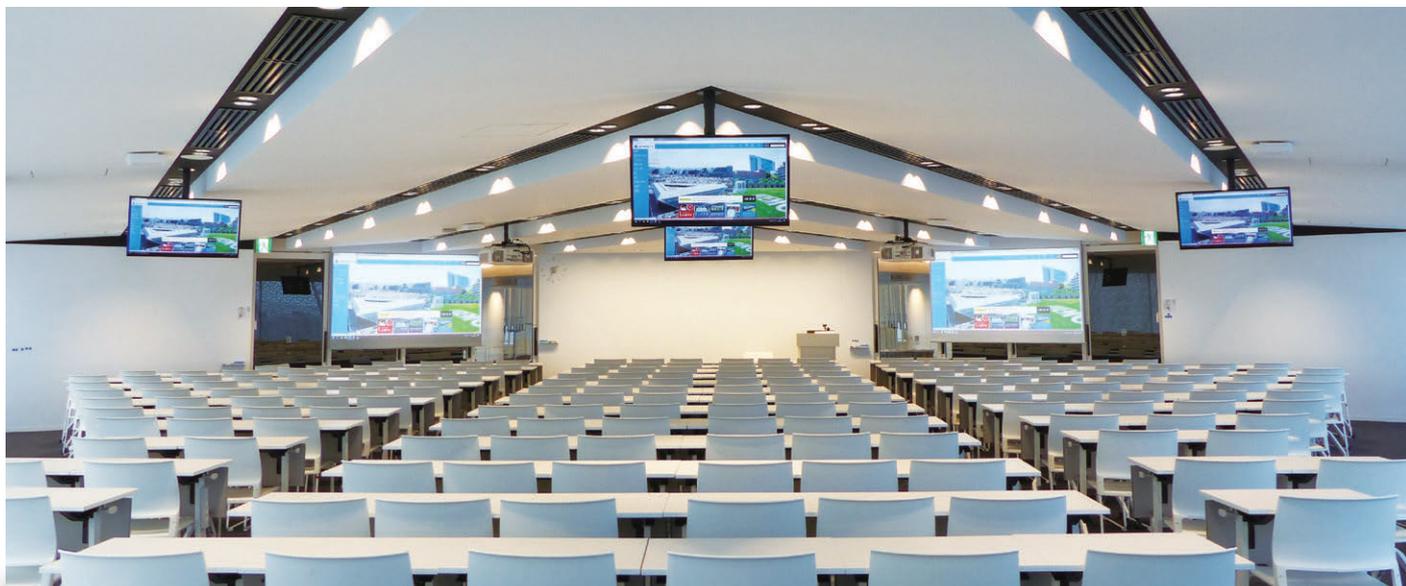


学生が自ら学び、教え合う。大学教育に革新をもたらす 新キャンパスを、映像・音響システムでトータルサポート。



追手門学院大学様

導入システム: 教育向け映像・音響システム

導入時期: 2019年4月 導入地域: 関西

課題:

新キャンパス開設にともない、教員も学生も、誰もが簡単に使える教育ICTシステムを構築したい

解決策:

簡単操作で運用可能な映像・音響システムを、全教室に一括導入

“
今では学生たちが自主的に集い、自分のパソコンをプロジェクターに繋いでグループ学習をしています。環境さえ整えば、自ら考えて自由な発想で教室を使ってくれるんです。
”

学校法人 追手門学院
図書館・情報メディア課長 村上 道治 様

背景

“学び合い、教え合い”をコンセプトに新キャンパスを開設

追手門学院大学様の2つ目のキャンパスとなった茨木総持寺キャンパスが2019年春にオープンしました。正三角形の特徴的な外観に、ガラスドアで仕切られた開放的な教室。学生のことを第一に考え、学生がこの空間に集まり、ともに学び合えるようつくられています。1棟に集約されたキャンパスは全65教室から成り、全教室にワイヤレスマイクシステムやプロジェクターを配備。中教室や「Presentation Studio」と名付けられた大教室ではビデオ会議システムによる遠隔授業にも対応しています。学習の新しい在り方を追求したこの新キャンパスで、パナソニックの映像・音響システムが活躍しています。

新たな学びの空間を

追手門学院大学様は、従来の知識注入型の大学教育ではなく、学生が自ら得た知識を活用しながらともに学び教え合う、協働的な学習を目指し茨木総持寺キャンパスを開設しました。敷地面積約64,400平方メートル、約5,000人の学生が集うこの場所から、日本の大学教育を変革していきます。

- 所在地: 大阪府茨木市太田東芝町1番1号(茨木総持寺キャンパス)
- URL <https://www.otemon.ac.jp/>

導入した理由

ポイントとなったのは、誰でも簡単に使えるシンプルで安定したシステム

各教室にハンドヘルド型とタイピン型の2種類が配備されたマイクシステムは、1.9 GHz帯のデジタルワイヤレスマイクWX-SR200シリーズを採用。隣接する教室で同時に使用しても混信せず、授業の進行を妨げることのない安定した運用が可能です。また、液晶プロジェクターは様々な教室の規模に合わせて最適なモデルを選定し全86台を採用。教員が用意したPC内の教材を簡単操作で写し出し、授業の途中で学生のPCからレポートなどを写す際もスムーズに切り換え可能です。教員も学生も、誰でも簡単に手間なく運用できる点が高く評価されています。



▲茨木総持寺キャンパス外観。写真右手が大学棟。左手にあるのは食堂棟

導入後の効果

大教室ではマイクとプロジェクターを活用してプレゼンイベントを実施

1階につくられた4つの大教室は、グループワークやプレゼンテーションがしやすい様々な工夫が施されています。全教室に1.9 GHz帯デジタルワイヤレスマイクWX-SR200シリーズを備え、講義はもちろん学生がマイクを持ち発表する場としても活用されています。中でも、広々とした空間に約200席が用意された「Presentation Studio」では、天井に3台取り付けられた8000ルーメンのプロジェクター PT-MW730Jを使って映像や資料をホワイトボードの壁面に投写。3画面に同じコンテンツを表示させたり、1画面ずつ異なるコンテンツを表示させたり、簡単に切り換えることができプレゼンの活性化に貢献しています。

中教室ではHDコムを活用して遠隔授業

2階と3階に設けられた中教室のうち3教室は遠隔授業に対応しています。高画質なりモットカメラAW-HE70HWで講義を撮影し、配信にはビデオ会議システム「HDコム」を活用。配信を行った先生方からは「スムーズに接続して簡単に授業が開始できる」、「遠隔で講義していることを意識せずに使っている」と好評です。

小教室は可搬式プロジェクターで教壇をなくしたフリーレイアウトに

4階と5階には約40部屋の小教室を配備。壁はホワイトボードとなっており、プロジェクターの素材を投写するスクリーンとしても使用されています。また、小教室のプロジェクターは天井に設置せずキャスター付きラックに置き、自由に投写位置を移動できるようにしています。プロジェクターに可搬性を持たせることで「教師は教卓の前に立って講義するもの」という従来の観念を取り払いました。図書館・情報メディア課長の村上道治様は、「プロジェクターを天井に付けてしまうと操作卓が必要になり、どうしても教師がその場所から動かない構図になってしまいがちです。可動式であれば授業に合わせて自由にレイアウトでき、学生自身がパソコンを繋ぐ際もスムーズです。今では、授業が終わってからも学生たちが自主的に集い、自分のパソコンをプロジェクターに繋いでグループ学習をしています。環境さえ整えば、自ら考えて自由な発想で教室を使ってくれるんですね」と語ります。

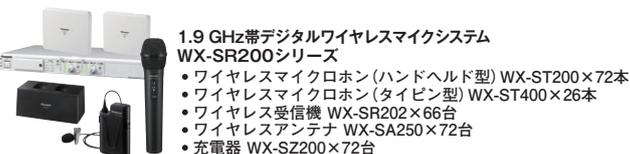
お客様の声

このキャンパスを開設してから学生が自主的に集まって一緒に学習することが多くなりました。授業が終わっても多くの学生が学内に残っており、「もっと遅くまで開けて欲しい」という声も届いているくらいです。一人で勉強してもできないことが、同じ目標を持った仲間と一緒に勉強することでできるようになるんですね。これからも、従来の大学教育の手法にとらわれず学生にとって最良の場を提供していきたいと思えます。



学校法人 追手門学院
図書館・情報メディア課長 村上 道治 様

納入機器



- 1.9 GHz帯デジタルワイヤレスマイクシステム
WX-SR200シリーズ
- ワイヤレスマイクrohホン(ハンドヘルド型) WX-ST200×72本
 - ワイヤレスマイクrohホン(タイピン型) WX-SA250×26本
 - ワイヤレス受信機 WX-SR202×66台
 - ワイヤレスアンテナ WX-SA250×72台
 - 充電器 WX-SZ200×72台



- 液晶プロジェクター
PT-MW730J×3台
PT-MW630J×40台
PT-VW360J×3台
PT-TW351RJ×40台



- フルハイビジョン
液晶ディスプレイ
TH-32EF1J×20台



- ビデオ会議システム
「HDコム」
KX-VC1300J×4式



- HDインテグレート
カメラ
AW-HE70HW×8台

Presentation Studio



▲天井に設置されたリモートカメラと3台の液晶プロジェクター



▲システムラック



▲1.9 GHz帯のデジタルワイヤレス
マイクrohホン



▲天井に設置されたリモートカメラ
AW-HE70HW



▲天井に設置された液晶プロジェ
クターPT-MW730J

中教室



▲遠隔授業用教室。天井には1台のリモートカメラと
2台の液晶プロジェクターPT-MW630J



▲遠隔授業を行うためのビデオ会議システム「HDコム」
本体KX-VC1300J(ラック中央)



▲2チャンネルのマイク音声を受信するワイヤレス受信機
WX-SR202(ラック中央)



▲三角形の角部屋には2台の液晶プロジェクターPT-MW630Jと
4台の液晶ディスプレイTH-32EF1Jを設置

小教室



▲近距離でも大きく写し出す短焦点プロジェクター
PT-TW351RJ



▲キャスター付きラックに乗せたPT-TW351RJは好きな
位置に移動可能

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号 汐留浜離宮ビル
ビジネスソリューションサイト

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/>

お問い合わせは パナソニック システムお客様相談センター

0120-878-410 受付：9時～17時30分(土・日・祝日は受付のみ)
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。(お問い合わせの内容によっては担当窓口をご案内する場合がございます)
ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>